

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者A】

所属	経済	学部	経済経営	学科	4	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	今まで海外に行った経験がなく、大学生になったら行きたいという思いを残したまま4年生になりました。コロナの影響でなかなか機会もなかったが、落ち着いた今、大学も最後の年ということもあり留学に挑戦することになりました。アルバイト先で、時々外国人のお客さんと会話することがあり、英語でのコミュニケーションが楽しいという気持ちと、もっとうまく話したいという気持ちが募っていたため、たくさん会話をしたいという目標を持って留学に参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	大学での授業は日本とあまり変わりはありませんでした。先生の中に、日本語をかなり理解している先生が居た為、かなり安心感があった。ホームステイ先での生活は本当に充実していて、困ったことは一切なく、ファミリーと素晴らしい時間を過ごせた。積極的に会話にチャレンジしたり、家の手伝いを通して日本との家事の違いを学ぶことができた。学生だけで出かける機会があり、自分の会話力や対応力を試すこともでき、それがかなり自信として身についたと感じる。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回の留学を通して、たくさんのことに気がつきました。大きくわけて2つあります。1つ目は、言語についてです。英語といっても地域や人によってイントネーションやアクセントが微妙に違う事が分かりました。それにより、今まで学んだ単語でも聞き取れなかったり、逆に伝わらない事がよくありました。2つ目は、文化や考え方についてです。バスを待っても時間通りではなかったり、バスのルートが変更になったりしました。良くも悪くも、臨機応変に対応する事が重要なんだと感じました。そして、戦争に対する映像を見たのですが、やはり自分が受けてきた教育とは全く違いました。それが悪いという事ではなく、色んな視点から物事を捉えるという事や、自分が知っていたり、信じている事だけが正しいと思わない事が大事なんだと学びました。日本人だけでも色んな考え方があり、国をまたげば更にその範囲は広がるということです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学経験で、これからの人生に活かしていきたい事がたくさん出来ました。もっと英語を話せるようになりたいと強く思ったり、もっと他の国も味わってみたいとも思いました。長い人生の中で、日本だけに留まらず海外での生活というものも視野に入れてもいいと感じました。オーストラリアに関しては、想像していたよりも素晴らしい国だったし、人柄もとても良かったです。そういった事から、海外へのハードルはとても下がった気がします。そして逆に、海外から日本へ来ている人に対して、困ってたら助けてあげたいと思いました。なぜなら、自分自身も困ったことはあったし、実際に体験しているのだから、より気持ちがわかるからです。そして、自分も助けて貰ったからです。
5. 自由記述	本当にいい経験になったと感じます。お世話になった先生や、関係者の方に感謝申し上げます。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者B】

所属	経済学部	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	4	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	四年生ということもあり留学できる最後のチャンスだと思い挑戦しました。将来、海外で仕事をするのを視野に入れていたので、その良いきっかけになればいいなと思いました。また、この留学を経て自分の視野を広げ、もっと色々なことに挑戦できるようになりたいと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	主に現地の大学に通い、英語の基礎からオーストラリアの文化まで勉強します。普段の授業だけでなく、大学で開催されるフェスティバルや、現地学生との交流、ランチタイムのカフェの利用、アニマルショーが大学にやってきましたりと自分たちで体験して学ぶことができました。放課後は、友だちやホストファミリーと一緒に近くのスーパーやショッピングモールに行ったりして楽しみました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今期留学を経て、もっと色々なことに挑戦したいということと、自分らしくいいということを海外に行き、より感じました。留学の最後の日に、大学で修了式があり、現地の先生たちに一言ずつアドバイスをいただきました。「Don't be shy」「Keep trying」などと、何気ないけどもとても大切なことを教えてもらいました。単純な言葉だけど、私にとって、すごく財産になりました。そして、日本では髪型や髪色に厳しく、服装も少し他人よりも派手で変わっていたら街中で注目を浴びることがあるけれど、オーストラリアでは、みんな生き生きして楽しそうに、自分がやりたいように生きたいように生きていて、日本と全然違いました。もっと日本でも一人ひとりが心地よく楽しく毎日を過ごせたらいいなと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	一ヶ月間で学んだ貴重な体験を忘れずに、英語の勉強を怠らずに続けていこうと思いました。今参加している留学生サポーターの活動に積極的に参加し、他国の学生と関わり、さらに英語力を高め、将来ワーキングホリデーに出かけることができた際にはその経験を活かしてもっと自身を高めていきたいです。そして、今までは街で英語で話しかけられたら自信がなく翻訳機能ばかり使っていたけれど、恥ずかしがらずに自分なりに伝えたいと思います。そうすることで自分の自信につながれば良いなと考えています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 19 日

## 海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は、生きた英語を学びたいと思ったからです。英語にも日本と同じように言葉を省略して発音することがあります。そういったことは日本の授業で学ぶ機会は少ないので現地に行き学びたいと思いました。加えて、私はリスニングが苦手なのでネイティブの先生に指導していただき、自分でも正しい発音で話せるようになりたいと思いました。また、英語を勉強することは将来必ず役に立つと思います。しかし、英語を話せるようになるだけではなく、日本以外の国の文化も柔軟に受け入れることも大切だと思います。他の国の文化や慣習を実際に体験することでより深く異文化を理解できると思い留学を決意しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	学校の授業では、前置詞などの基本的な文法や、日常会話でよく使われる単語、発音などの勉強をしました。日本では発音の練習はあまりないので、しっかりと教えていただけて良かったです。私はLとRの発音が苦手でしたが、口の動かし方を習い今までは上手く発音できるようになったと思います。生活面では、週末にホストファミリーとお出掛けをして、マーケットやショッピングに行きました。レストランに行ったとき、メニューには写真が一枚もなく、料理名と簡単な料理の説明が書かれているだけだったので、メニューを選ぶのにもとても時間がかかりました。しかし、簡単に料理の説明が書かれているのでどんな料理か想像することができたので、説明書きがあるのはとても良いシステムだと思いました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと</li></ul> など)	私の留学での目標は、生きた英語を学ぶこと、リスニング力を向上させ英語でのコミュニケーションをもっと円滑に進むようにすることでした。実際のネイティブの発音や、略称などを知れて良かったです。また、オーストラリアには色々な国の人がいるので、人によってアクセントの違いがあり、聞き取るのが難しいこともありました。留学開始の最初の頃はホストファミリーの言っていることが理解できなくて、コミュニケーションを取るのに苦労しましたが、2週間くらい経った頃から英語に耳が慣れてきて最初よりもホストファミリーの言っていることが理解できるようになりとても嬉しかったです。また、オーストラリアはイギリス英語が主流で今までに習った発音やスペルが違い戸惑ったこともありました。そのため、今後はイギリス英語も学んでいきたいと思いました。また、この留学でリスニング力を向上させることができたので、今後も英語に触れる機会を増やしていきたいと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学で、今の私の英語の能力では日常会話も十分に話すことができないと実感しました。もっと、リスニング力を上げ、ぱっと話せるように頭の中ですぐに文章を作れるようトレーニングをしようと思いました。また、オーストラリアでは、水不足のためお風呂の時間がとても短かったり、食事がパンメインだったり、1か月滞在しただけでも日本との違いを実感しました。私が当たり前だと思っていることでも他の国の人からしたら当たり前ではないことがもっとたくさんあるのだと思いました。そのため、将来は人と関わる職に就きたいと思っているので、いろんな国の文化や慣習を調べてみようと思いました。
5. 自由記述	今回の留学では、英語を勉強するだけでなく、オーストラリアでのバスの乗り方のような日本との違いを発見することができて、とても良い経験になりました。今回留学に参加して本当に良かったと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者D】

所属	経済学部	学部	国際文化ビジネス・観光学科	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学のプログラムが沢山あったためこの大学に入学し、ずっと留学に行きたいと思っていたがタイミングを逃し就活で忙しくなる前に行こうと思い今回参加しました。目的としては、将来的に英語を使った仕事につきたいと考えているので、英語で少しでもコミュニケーションを取れるようになるため英語の環境に身を置いてみようと思いました。目標は日本でできない体験を沢山して、見たことない景色を見ることで、他にも現地の人とできるだけ自分からコミュニケーションをとることでした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	ほぼ毎日、朝5時半に起きて平日は8時半から2時50分まで学校で授業を受け放課後は家の近くの公園に行ったり近くのスーパーまで散歩したりしていました。休日はホストマザーが沢山のアクティビティを提案してくれたので、パドルボードをしたりフリーマーケットに行ったりホエールウォッチングをしたりサンライズを見に行ったりして、日本では見れない景色や体験をすることが出来ました。また、ホームパーティーをしている事があったのでホストマザーの友だちとご飯やスイーツを食べて沢山お話する機会もありました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと</li></ul> など)	留学では少しでも多くの現地の人とコミュニケーションをとり、毎日英語で日記を書くことを目標にしていました。ホストマザーとは食後に色々な話をし、毎晩その日あったことを日記におさめることも出来ました。たった1ヶ月ではありましたが、沢山不安もあり、初めてのホームステイでしたが、意外と自分が海外でも生活して行けると少し自信ができました。また、ホームステイでは楽しく生活することができました。オーストラリアは日本とは違う生活習慣や文化があり、とても自然豊かで全てが壮大でした。また、街中を歩いていると色々な国の人がいて本当に多国籍な国だと感じました。これまで少し海外に行ったことがありましたが、まだまだ見たことのない景色がいっぱいあり、世界には素敵な所や人達が沢山いるのだなと感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学をしたことにより英語を話すことに対して少し自信がついたので、これからもできるだけ英語を使える環境に身を置いて英語に対する抵抗を無くして行こうと思いました。また、留学をした事により英語の勉強に対するモチベーションがあがりました。もっと勉強も頑張ってもう少しコミュニケーションが取れるよになればワーキングホリデーを試みたいと思ったと共に、もっと沢山の国にいて自分の見た事のない景色をもっと見て刺激的で楽しい人生にしていきたいと感じました。
5. 自由記述	この留学で沢山の新たな発見が出来て色々な景色を見たり色々な体験をし、前の自分とは少し良い方へ変わった気がするので留学をしてとても良かったです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者E】

所属	経済学部	学部	国際文化ビジネス・観光学科	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	Southern Cross University			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>私が留学した理由は、昔からの憧れだったためです。私は小学生の頃から海外に強い憧れがありました。日本のアイドルや韓国アイドルが流行っている中、私はずっと洋楽を聴いていました。その時、今聞いている洋楽の意味が簡単に理解することができたらいいのになという思いつきで英語を習いに行っただけを覚えています。しかし、日本内での英語の勉強には限りがあると感じました。そのため、現地のネイティブな発音を直接聴くことが一番良いのではないかと思い、留学に行くという選択をしました。10歳の時の憧れを20歳の今、叶えることができとても幸せです。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>授業は、平日の8時30分から14時15分まででありました。授業内容は、英語の基本の復習と発音練習を教わりました。リスニングテストやライティングテスト、スピーキングテストも受けました。また、現地の高校生と英語で会話をする機会もありました。週に1度、学内のカフェテリアでLGBTQなどのイベントが開かれていました。授業が終われば、ホストファミリーのお迎えが来るまでは自由時間でした。学校がない日は、ホストファミリーの方がゴールドコーストやパイロンベイなど、オーストラリアの観光地に連れて行ってくださいました。あまり、現地の人と関わる機会が少なかったため、カフェに行って店員の方と話すなど工夫して英語を話す機会を増やしました。</p>
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと</li></ul> など)	<p>私の留学中の目標は、リスニング能力とスピーキング能力の向上でした。そして、この留学を通して1番リスニング能力が養われたなと感じました。ホストマザーとの初めての会話はこんなにもわからないのかと自分に絶望するほど聞き取ることもできませんでした。しかし2週間目ほどからは会話の8割は理解できるようになりました。これは、授業のおかげもあると思いますが、基本耳に入る言語が英語のみで、耳が慣れたのだと思います。そしてもうひとつのスピーキング能力は、まだまだ勉強不足だなと感じました。リスニング能力が上がり、理解できるようになりましたがそこまで、自分の言いたいことを完璧に伝えることがなかなかできませんでした。しかし、話すスピードは遅く、発音も正確なものではありませんが少しずつ伝えられるようになったと感じます。そのためもっと話す機会を増やし、スピーキング能力を上げていきたいです。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>私は、今回の留学経験の反省点を今後海外に行く際に活かし、さまざまな国の方とコミュニケーションをとりたいと考えています。初めは失敗したらどうしようと考えてしまい、なかなか自分から現地の方に話しかけることができませんでした。しかし、その時間をもったいないことに気がつきました。そのため始めから自分から行動できるようにしたいです。また、さまざまな国の方とコミュニケーションをとりたいと考えています。オーストラリアにはたくさんの国の方がいて、さまざまな文化が混ざっていました。今回の留学でお互いの文化を大切に、尊重することの大切さを学びました。そこからたくさんの文化を自分の目で実際に感じていきたいなと思いました。</p>
5. 自由記述	

## 海外留学報告書

## 【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学をした理由は、去年留学に行っていた友達から話を聞いたところ、とても楽しそうだったからです。また、これまでの学生生活で特に何も活動をしておらず、時間がある間に何か行動を起こしたいと思い留学することを決めました。そして、これからの就職活動に活かしたいと思いました。これから働いていく中で、英語を話せることは自分の武器になりますし、単純に英語を話せる人はカッコいいという思いからです。日本でも勉強すれば英語が話せるようになるかもしれませんが、あまり英語を使う機会はありません。今回、英語しか話さない環境に行くことで英語力が伸びたら良いなと思いました。また、海外は日本とは文化や価値観が全く異なります。留学に行くと実際に感じることで、自分の中での価値観などが変われば良いなと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地の授業を、神戸国際大学のメンバー全員で同じクラスで受けました。授業は90分で、時間割は8:30から1限が始まり、15分の休憩後に2限を受けてランチタイムでした。ランチの後は60分の授業を受け、その後60分はセルフスタディタイムでした。課題をしたり、友達と話をしたりして1日の授業は終わりました。授業では文法や発音などを主に学習しました。レベル的には中学生レベルでしたが、すべて英語でネイティブの先生から学べ、最初は理解することが大変でした。放課後はホストファミリーのお迎えが来るまで、カフェに行ったりジムに行ったりそれぞれの時間を過ごしました。ホームステイ先では、とても健康的な生活を過ごすことができました。私のホームステイ先は、自然に囲まれた素敵なお家でした。ホストマザーは料理上手で、毎日美味しいご飯を食べることができました。週末は、海やショッピングに行きました。1日1日があっという間に過ぎて、毎日が充実していました。
3. 留学の成果 ( ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など )	1か月で一番伸びたと思うのは、リスニング力です。日本ではアメリカ英語を主に学びます。オーストラリアはイギリス英語なので多少の違いがありましたが、どちらも英語なので留学前より英語を聞き取れるようになったと感じます。留学中は単語が出てこなかったり、会話で使うフレーズや相槌の仕方などが解らなくなったりしました。日本語だともっと話せるのに、英語になるとなかなかスムーズに話せませんでした。そして、会話中、文法が間違っていないかなどを考えているうちに違う話題になったりして、とっさに話すことは難しいと感じました。他には、日本との文化の違いを感じました。例えば、家の中でも土足だったり、オーストラリアは水不足のため、洗濯やシャワーの回数や時間が少なかったりすることです。そのため、水の購入価格が高いことに驚きました。日本は水に恵まれていると感じました。今まで何も考えずに水を使っていたのですが、オーストラリアに来て水を使いすぎないように意識することができました。一緒に留学した友達のホストファミリーの話を聞くと、オーストラリアの人は比較的健康的なんだと感じました。スーパーやレストランに行くと、ビーガンなどの健康志向の商品が必ずあったり、家で食べるご飯の味付けが薄めでした。また、今回の留学期間でコミュニケーションの難しさを感じました。日本人は遠慮をしたり気を使ったりする人が多く、私もそのうちの一人です。ホストマザーに気を使ってしまい、うまくコミュニケーションができない時がありました。しかし、何事も言葉にしないと相手には伝わらないと気づき、一日の中で「今日はこのことを話す」という目標を決めていました。これを達成するとすっきりしましたし、ホストマザーとの会話に繋がりが少し自信がつかしました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	まず、この留学で自分英語力のなさを実感しました。、さらに英語の勉強をして、翻訳機能を使わなくても現地の人と会話ができるようになりたいと思いました。単語が分からなかったのも、まずは単語を中心に勉強しようと思います。そして、TOEICで高得点を目指したいです。また、私のアルバイト先には海外の方がいらっしゃることもあるので、今回の留学経験を活かして、簡単な英語でもいいので接客できるようになりたいです。現地の大学では、「Don't be shy!」という言葉をよく聞きました。日本では授業中に自分から発言することはなかったのですが、現地の授業で少したけ自分から発言できるようになったので、日本でも同じようにできるようになりたいです。そして、今まではやりたいと思っていたいても実際に行動に移すことができなかったのですが、今回留学をするという決断をしたことにより有意義な時間を過ごすことができました。今後もやりたいと思ったことを積極的に行動に移していきたいです。
5. 自由記述	英語力を伸ばすには、周りに日本人がいない環境に行くことが一番だとこの留学で感じました。機会があれば、再度留学をして、海外の人とたくさん交流して英語が話せる人になりたいと思いました。留学に行かないと体験できないことをたくさん学べたので、留学に行くと良かったと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者G】

所属	経済	学部	経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回留学をしようと考えた理由はたくさんありますが、主に2つあります。1つ目は経験です。一度は海外に行ってみたいと考えていたことと、自分が見たことのないことや景色を経験したいなど思いました。私の中で挑戦なしの後悔より、挑戦して後悔の方が自分にとって大切なことだと思ったからです。2つ目は英語力の向上です。特に私はホームステイがとても良いと感じました。今回は、ホームステイで一番成長したのではないかと思います。やはり現地の言語を聞くことによって英語力も大きく成長するのではないかと思います。これらの理由により私は留学をしようと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	私は学校だけでは楽しめないと思ったので、放課後はトレーニングジムに通いました。ジムの人とコミュニケーションをとるなど工夫をしました。週末にはホームステイファミリーにアクティブな活動ができないかと交渉をするなど、自ら活動をするといった学びも体験できました。人に頼らず自ら活動を起こすことで、現地での活動をとて楽しめることができました。学校でも同じように、コアツアーなど自分たちで提案したことを楽しむこともでき、良い思い出をたくさん作ることができました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	英語を4週間では学べることはできませんでしたが、とても濃く学びがいのある4週間でした。日本では日常的に英語を話すことが少ないですが、国を跨ぐと日常的に英語が入り混じっています。その環境の中で過ごしたので、リスニング能力は留学前より圧倒的に上がっているのではないかと思います。スピーキング、リーディングに関しては、しっかり基礎や文法を学ぶ必要があると今回の留学で感じました。今回は現地の人たちがとても優しく受け入れてくれたことで、私自身の心が救われることも多くありました。挑戦しやすい環境で、コンビニやスーパーでのショッピング、レストランでの注文が楽しくなりました。私自身の今回の留学課題はこれで達成できたと思います。自然の多さや日本とは違うこと、環境の違いなど、興味深いものが多くありました。とても過ごしやすい気候で、もう一度行きたいと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学を無駄にすることなく、様々なことを視野に入れながら順序よく何事にも挑戦をしていこうと思います。海外に行くと考え方が変わると聞きますが、私自身このことを大いに実感しました。今まで日本で挑戦できないことを、挑戦していきたいと思っています。この経験が薄れないように、英語を自主的に学び、もう一度この地に帰ってきたいという気持ちです。この経験は今後の自分にとって良い起点になると思いました。語学だけでなく人としてとても成長ができたと思っているので、日本でもこの気持ちを保ちつつ進んでいきたいと思っています。
5. 自由記述	今回の留学で知らないことを知ることができたり、自分にとってとても良い思い出ができたことに感謝します。一緒に過ごしたメンバーにもありがたかったです。もう一度行きたいと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者H】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私がこの留学を選んだ理由は、単純に英語を勉強したいという理由でした。日常会話レベルくらいには英語を話す、聞く能力を身につけたかったからです。私は英語が全くできないので、この留学で少しでも英語を話す、聞くスキルを上げたいと思いました。そして、その国の文化や環境についても勉強をしたかったからです。また、留学をすることが就職活動や将来の役に立てるとができるのではないかと思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での授業では、文法、発音、日常会話など様々なことを勉強しました。そして、グループワークや英語で発表などをしました。また、校内には様々な動物がいて、その動物の説明やオーストラリアの動物の説明が授業がありました。生活面では、靴で生活すること、寝る時間が早いこと、洗濯は毎日しないことなど日本の文化とは大きく異なっていました。食事面では、食事の時間は一定ではなく、量は多くはありませんでした。そして、本当に人々はお箸を使わないのだなと思いました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	留学の成果としては、自分なりに達成したのではないかと思います。目標としていたことは話す、聞く能力を身につけることでした。私はほとんど話せない状態で留学したのですが、話すとなんとか伝わるレベルになりました。また、最初は聞き取りが難しいと思いましたが、生活していくにつれて徐々に聞き取れるようになっていきました。その時、自分の英語力は上達していると思いました。感じたことに関しては、物価が高いことでした。水1本が約250円から300円くらいでした。ほとんどの物の物価が高くて驚きました。移動手段は基本、車でした。歩いている人は少なかったです。道路には信号が少なく、横断歩道があまりありませんでした。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学をして、私はさらに英語を学びたいと思いました。特に話す能力に力を入れて勉強をしたいと思っています。今回の留学では英語の準備勉強をあまりせずに行きましたが、さらに英語の勉強をして、機会があればもう一度留学したいと思っています。また、いろんな国へ行き、その国の文化、語学、国際的なビジネスについて学びたいと思っています。さらに、今回留学に行こうと思った挑戦精神で様々なことに挑戦したり、就職活動などに役立てたいと思っています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。



提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者1】

所属	経済	学部	経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は2つあります。1つは英語を本気で頑張りたいと思ったからです。今までの私にとっては、英語は難しく苦手なものでしたが、海外の歌手にはまり、彼の動画などを見ている中で、彼の言葉や歌詞を聞き取れるようになりたいという気持ちから英語学習に力を入れるようになりました。2つ目は以前から留学に興味があったからです。今まで海外に行ったことがなく、ましてや海外での生活などは未知で不安なことは多くありましたが、そういった場所に行ってこそ新しい発見や自分の視野がもっと広がり、自分の成長につながると思い留学に行きました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での生活は新しく慣れないことがたくさんありました。学校は少人数制の授業で、先生によって授業内容は異なっていました。授業の中で、外で活動したり、お祭に行くなどしました。学校内は自然が多く、野生のコアラがいたりして、日本では体験できないことがたくさんあり新鮮でした。ホームステイでの生活は食文化や言葉の違いで苦労することが多かったですが、休日はホームステイファミリーと外出したことがとても楽しい思い出となりました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	留学した1か月、私が一番感じたことは自分の英語は全く通用しなかったことです。留学のために色々と勉強して準備したこと、実際に現地で会話することは全く別物でした。実際に会話する内容の文法が頭に浮かんでも、言葉にすることがうまくできませんでした。それよりも私が一番苦労したことはリスニングでした。今でもリスニング自体が苦手でしたが、実際に現地で聞き取れることはとても難しかったです。英語はテストで文法や単語が重要という考えでしたが、この1か月で私の今までの英語に対する考えが変わりました。するべき勉強も今までは変えないといけないということに気づきました。その発見だけでも留学に行った価値があったと感じています。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は以前からワーキングホリデーに興味を持っており、今回の留学でその気持ちがさらに強いものになりました。今回の経験で自分に足りないものをたくさん発見し、それを改善できるようにもっと勉強していこうと思います。留学中に必要だと思えた「とりあえずやってみよう」という考えは日本においても大事だと思います。その考えを持って私はこれから積極的に色々なことに挑戦していこうと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者J】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は人とコミュニケーションをとるのが好きなので、増加している外国人観光客の方や、外国に行った時に現地の方とスムーズにコミュニケーションをとることができることより楽しく過ごせるのではないかと考え、英語を学べるオーストラリア留学を選びました。そして自分の見た事がないものや感じたことがないものを、実際に目で見て触れてみたいと思いました。オーストラリアは自然がとても豊かで野生動物が多く生息していますし、先住民であるアボリジニの文化など日本では見るできないことを見ることができると思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地の授業は座学を中心とした授業でした。主に発音練習、オーストラリアの文化や礼儀作法、固有の動物の名前を学んだり、またホストファミリーに宛てた手紙の書き方なども学びました。ホストファミリーの家では日常会話は全て英語で行い、分からない単語などは自分なりに調べたり、ホストファミリーに教えて貰いながら会話をしていました。そうしているうちに、徐々に英語の発音やトークのスピードに慣れて、留学前とは比べ物にならないほど英語力が上がっていることを実感できました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今までに見たことのない物や自分の知らない世界にふれること、英語での日常会話のマスターを目標として留学に参加しました。1つ目の目標である知らない世界にふれることは大いに達成できたと感じています。日本とは全てのスケールが違い、建物の大きさや自然の豊かさ、動物との関係性などに驚かされました。そして2つ目の目標である英語での日常会話のマスターですが、知らない単語も多く、所々相手に聞き返したり調べることがあるのでマスターしたとはまだ言えません。ですが、今までの自分と比べるとリスニングや単語の使い分けができるようになっていたことを実感しました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	もし外国人観光客の方が困っておられたら積極的に声をかけ、今回の留学で身につけた英語を使うことで少しでも力になることができれば嬉しいと考えています。また、自分が今見ているものだけが全てではなく、世界には自分がまだ見たことがないものや、日本から出ないと経験できないことが沢山あるということを忘れずにいたいのです。チャンスがあればどんどん挑戦して、たくさんの経験をし、自分の将来の選択肢を増やしていくことで豊かな人生を送れる糧にしたいと考えています。そして英語の学習を継続し、今回の留学で目標にしていた英語での日常会話のマスターを達成したいと考えています。
5. 自由記述	どんな人でも自分の見たことのないものや、体験したことがあります。それによる固定概念を覆すためには積極的に行動を起こし、経験をすることが最も必要だと感じました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 25 日

## 海外留学報告書

## 【参加者K】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私の留学の理由は、オーストラリアの素晴らしい教育環境と多様な文化を体験をすることでした。オーストラリアは世界的に有名な大学が数多くあり、独自の教育システムがあります。また、英語圏であるため、英語力の向上にも大いに貢献できるのではないかと考えました。さらに、オーストラリアは自然環境が豊かで、美しい景色やユニークな動植物を楽しむことができるとも考えました。そして、異文化体験や国際交流も盛んであり、多様な人々と触れ合うことができると思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	海外の大学の授業については、非常に刺激的で充実した経験でした。授業の質が高く、多様な視点や実践的な学びが盛り込まれていて、自分の知識やスキルを広げることができました。また、教授やクラスメートとのディスカッションやグループプロジェクトを通じて、異なる文化やバックグラウンドを持つ人々との交流も楽しめました。授業のスタイルも多種多様で、講義だけでなくフィールドワークや実地研修などもあり、実践的な学びが得られました。一方、私は英語での授業に慣れるまでに時間がかかりましたが、教授や友人からのサポートもあり、徐々に克服することができました。海外の大学の授業は、新しい知識や経験を得る機会であり、自己成長にとって非常に有意義なものでした。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	オーストラリアに留学して感じたことは、まず多文化共生の雰囲気が非常に強い点です。さまざまな国からの留学生や移民が多く、多様なバックグラウンドを持つ人々が集まることで、異なる価値観や文化に触れる機会が豊富でした。また、オーストラリアの人々はフレンドリーでオープンな性格が多く、初対面でも親しみやすさを感じました。さらに、大学の授業ではディスカッションが重視され、自分の意見をしっかりと主張し、他者の意見も尊重する姿勢が求められる点が印象的でした。また自然環境も美しく、アウトドア活動を通じてリフレッシュできる環境も魅力的でした。このような経験を通じて、自己成長と異文化理解が深まりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学の経験を今後活かすためには、まず異文化理解とコミュニケーション能力を仕事や人間関係に活かしたいと思います。多様な価値観や考え方を尊重する姿勢を持つことで、国際的な場面やチームでの協働に強みを発揮できると思います。また、留学中に培った自主性や問題解決能力を活かし、積極的に新しい挑戦に取り組む姿勢を維持したいです。さらに、語学力を活用し、グローバルなビジネスや交流の場で貢献していくつもりです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由は、私の英語スキルを上げたかったからです。そして、今回の留学の目標は基本的な英語で会話ができるようになることでした。日常的に英語を話すネイティブの人たちと共に生活することで、KIUで受けている授業では勉強ができないナチュラルな英語を知ることができますし、さらに英語が上達すると思いました。その他の理由は、TVやSNSを見ても体感できない海外生活を体験したいと思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	日本と変わりなく、学校は月曜日から金曜日まで週5日でした。学校のスケジュールは、授業開始が8:30で、10:00になると15分の休憩があり、10:15からまた授業が再開し、11:45からはランチタイムでした。ランチタイムは日本より少し短くて30分間でした。ランチが終わると午後の授業が始まり、14:15に授業が終了でした。その後は、それぞれのホストファミリーが学校まで迎えに来てくれました。土曜日と日曜日は学校がありませんでしたので、ほとんどの時間をホストファミリーと過ごしました。過ごし方は様々で、買い物に行ったり、海水浴をしたり、家でリラックスしたりして過ごしました。私が実際に感じたことは、オーストラリアの人は皆とても早寝早起きだということでした。夜ご飯を食べるのは夕方5時ぐらいで、夜の10時ごろにはベッドに入っていました。はじめはそのような生活に慣れなかったのですが、数日で私も早寝早起きの習慣が身に付きました。なぜかという、朝学校が始まる時間が日本より若干早かったからです。私はこの生活は規則的で良い習慣だと思いました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	先生は現地の方でしたが、1人の先生は日本語を話せる方だったので日本語で会話してしまいそうになったり、日本語を学ぶ高校生との交流が1度ありましたが、相手の日本語が上手なあまり日本語で会話をしてしまいそうになりました。ですが、英語を学ぶ場面は学校以外にもたくさんあり、ホストファミリーとの会話や店での接客の中に多くありました。4週間という短い期間で、英語を聞く能力は格段に上がりました。はじめは耳が慣れないので会話することも難しかったですが、帰るころには十分に会話できるぐらいに成長しました。オーストラリアで新しく感じたことは、家などの室内に土足で入ることでした。これは最初は慣れなかったです。もう一つは、オーストラリアの大体の家庭はペットを飼っているということでした。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はまだ就きたい職業を明確に決めていませんが、この留学した経験を将来に活かしたいと思います。将来の選択肢を増やすためにも、英語を話せるということは重要だと思います。ただ単に英語ができるということではなく、実際にネイティブとの生活を経験している方が、よりナチュラルな英語を話すことができるのではないかと思います。今回の海外研修をただ楽しかった思い出で終わらせるのではなく、経験を無駄にはせずに良い面悪い面相互に振り返ろうと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者M】

所属	経済	学部	国際ビジネス観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回夏期英語研修に参加した理由は、まずは誰でも参加できるため英語力に自信がなくても挑戦することができたこと、自然豊かなオーストラリアのホームステイ先での生活を体験したいと思ったからです。ネイティブとのコミュニケーションをとることにとても緊張してしまい苦手意識がありましたが、今回の研修でたくさん会話することで、その苦手意識をなくしコミュニケーションをとることが目標でした。またホテルに泊まるのではなく実際にオーストラリア人と一緒に生活することでオーストラリアの生活を体験することができ、日本との違いを自身で感じることができることも参加した理由の一つです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	大学での授業は淡々と進んでいき素敵な先生に英語の基礎から学ぶことができましたが、クラスには同じ大学の人のみで構成されていました。一度、現地の日本語を勉強している高校生との交流の機会があり、少しでしたがお互いに良い時間を過ごすことができましたと思います。ホームステイだったので、毎日の送り迎えの時間や食事の時にホストファミリーと会話する時間があり、文法の間違いやミスをしてすぐに正しい言葉を教えてもらえる環境で生活できたのは、自信と成長につながったと思います。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回の研修ではじめてオーストラリアに行きましたが本当に親切で優しい方が多く、一番緊張するショッピング中の定員さんとの会話も今までに比べて緊張せずに行うことができました。私の下手な英語も聞いてくれたり、間違っていることを教えてくれたりと、街中でもとてもフレンドリーな方ばかりでまた留学でも観光でもまた来たいと思いました。そのおかげで一番最初にも書いている目標であるコミュニケーションをとることへの苦手意識を減らし自ら話しかけることに挑戦することができるようになり、参加してよかったなと思いました。新しく発見したことはやはり文化の違いです。知らないことのほうが多い状態で出発しましたが、知っているつもりのもでも想像とは違うことも多く新しく発見し感じることも多かったです。特に、普通に裸足で出歩いている人がいるとは知らなかったこともあり、実際に裸足で出歩いている方を見たときはとても驚きました。またオーストラリアは良い意味で適当で自由なところがあり、日本では感じることはない点だろうなと思いました。親切な方が多く平和な理由なのは、この自由な感じからきているのではないかと思いました。他の人目を気にせず自分のしたいことができるオーストラリアにとても憧れを持ちました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の夏期英語研修で待ってるだけじゃ誰とも会話できない、積極的に自ら話しかけることが大事だと学びました。今後挑戦したいと思っている長期留学や海外インターンシップなどでこの学びを活かしたいです。また、次に自分が参加する留学がホームステイかどうかはわかりませんが、もしホームステイだったら家族との時間を一番大切にしようと思いました。今回、ホームステイでゲームをしたのですが、その時が一番自然に会話もでき大切な思い出として残っているからです。次はもっと会話やゲームなどで仲を深められるように頑張ろうと思いました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者〇】

所属	経済	学部	観光ビジネス	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	中学生の時から、SNSやYOUTUBEの動画、海外の映画などを見るのが好きになり、そこから海外のファッションや音楽を調べるようになり、海外にとっても興味を持ち始めました。KIUを選んだ理由の一つが、在学中に留学ができるという点でした。今回の前期の海外研修Aでオーストラリアに行けるという情報を見た時、絶対に参加したいと思いました。理由は、今の世界で英語を話せることは、ただ単に海外の方とコミュニケーションが取れるだけでなく、自分自身のこれからの選択肢や関係を持てる人の幅が何倍にも広がると思い、今回の海外研修に参加して英語を勉強したいと思ったからです。今後、様々な国に行き、その国の文化や楽しいことを自分の体で感じたいと思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	私はもともと英語を全然話せず、英語を話されても理解できませんでした。当初、授業ではKIUの友達が周りにいたり、本格的な授業が始まっていなかったため、それでもなんとなく過ごしていました。ホームステイでは自分が直接受け答えしないといけなかったことがとても難しく感じました。授業中に出てきた知らない言葉や、使えそうな言葉や単語を携帯のメモに入れるなどをして、ホームステイ先へ帰ってから使うようにしました。ホストマザーに自分が伝えたかった言葉や感情や、何気ない会話などが少しずつできるようになると、とても嬉しかったです。また、ホストマザーが使っていた言葉を寝る前に携帯で調べて、次の日に会話の中で使うと、ホストマザーも喜んでくれて良かったです。現地の高校生と公園で一緒にバスケットボールをした時、冗談交じりの会話ができただけでも良かったです。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	私は今回この海外研修Aでオーストラリアに1か月行くことができ本当に良かったと思います。オーストラリアに行く前は1か月は長いかな、とか簡単に話せるようになるのかな、と思っていました。実際に行ってみて、この1か月は短く感じ、とても楽しかったです。1か月で英語がずらずらと話せるまでには達しませんでした。頑張って英語を聞き取り、自分の思いを相手に伝えるための頭の使い方や相手に伝わるまで何回でも言ってみようというメンタルが強くなりました。そして、行く前と帰ってきたときには、自分でもわかるぐらい英語をしゃべってみよう！という自信がついたと思います。オーストラリア人やお店で働いている人は皆が笑顔で接してくれました。自分たちが日本人というだけで、日本大好きとか、日本の料理はおいしいと言ってくれて親切にしてくれたり、とても愛想がよく、話していてもこっちは気分がよくなるような接客や会話をしてくれていました。それもあって、気分が落ちて楽しくないという日が一日もなく、毎日笑顔でオーストラリア留学を楽しむことができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	オーストラリアの授業中に習った英語やホームステイ先で使った英語を、帰って来たらもう勉強するのをやめるんじゃなくて、日本に帰ってきてからも復習をして次行ったときに使えるようにするのとプラスで新しい英語や使えそうな英語をいっぱい勉強して次に行ったときにまた一からではなく、今より話しやすい状態でスタートし、もっともっと話せるようになりたい。そして、オーストラリアの人たちの働くときのマインドや陽気な雰囲気やとてもフレンドリーなのに自分をしっかり持っているという、カッコいいマインドで暮らしているところはとても素敵だと思った。言語だけではなく、いいところを自分なりに考えて取り入れれば日本でも生活してみようと思う。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム  
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない  | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる   |
| 3. どちらでもない    |              |

**1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。**

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

**2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。**

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

**3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。**

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

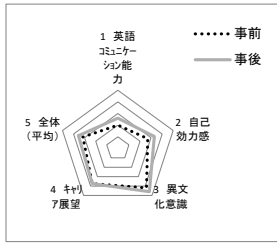
**4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。**

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2024年度 夏期英語研修(グループ型) 参加前後における意識調査アンケート結果 (ササノクス大学) 対象者:15名

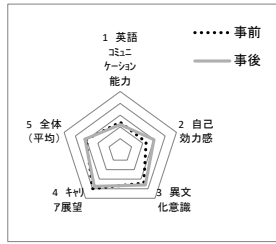
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.6
2 自己効力感	2.7	3.3
3 異文化意識	4.2	4.6
4 キャリア展望	3.8	3.8
5 全体(平均)	3.2	3.6



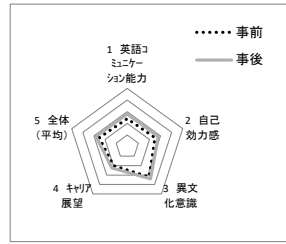
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	2.2
2 自己効力感	2.3	3.0
3 異文化意識	3.4	3.6
4 キャリア展望	4.0	3.8
5 全体(平均)	3.0	3.1



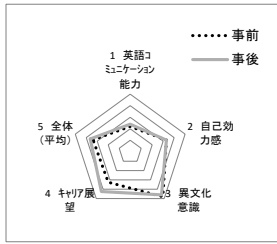
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	2.8
2 自己効力感	2.5	2.8
3 異文化意識	3.2	3.4
4 キャリア展望	2.0	2.3
5 全体(平均)	2.5	2.8



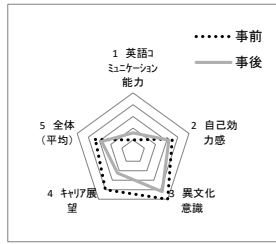
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	2.4
2 自己効力感	3.3	3.3
3 異文化意識	4.8	4.6
4 キャリア展望	3.3	4.3
5 全体(平均)	3.4	3.6



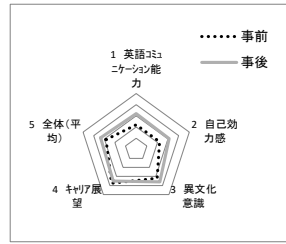
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	1.6
2 自己効力感	3.5	3.2
3 異文化意識	5.0	4.2
4 キャリア展望	4.0	2.3
5 全体(平均)	3.4	2.8



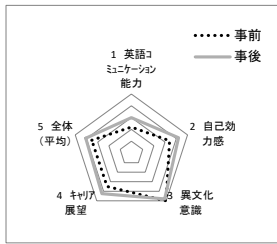
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	3.2
2 自己効力感	2.2	3.1
3 異文化意識	3.2	3.6
4 キャリア展望	3.8	3.5
5 全体(平均)	2.8	3.4



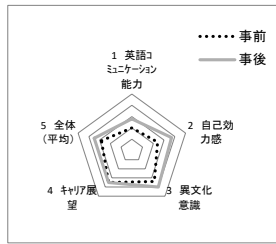
【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	3.0
2 自己効力感	3.4	4.2
3 異文化意識	5.0	4.8
4 キャリア展望	3.5	4.3
5 全体(平均)	3.5	4.1



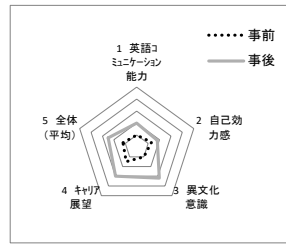
【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.8
2 自己効力感	2.4	3.7
3 異文化意識	3.4	4.0
4 キャリア展望	3.5	3.5
5 全体(平均)	2.8	3.5



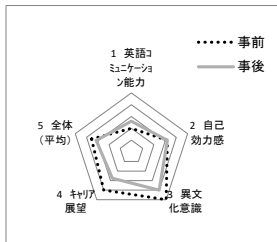
【参加者I】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	2.0
2 自己効力感	1.3	1.8
3 異文化意識	1.0	3.2
4 キャリア展望	1.5	3.0
5 全体(平均)	1.2	2.5



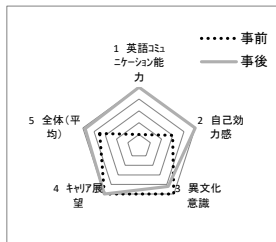
【参加者J】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.6
2 自己効力感	3.2	3.2
3 異文化意識	5.0	4.0
4 キャリア展望	4.0	2.8
5 全体(平均)	3.6	3.1



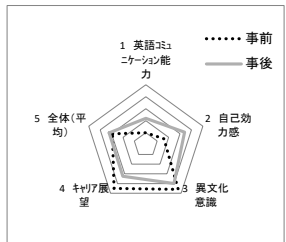
【参加者K】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	5.0
2 自己効力感	3.0	5.0
3 異文化意識	5.0	4.2
4 キャリア展望	5.0	5.0
5 全体(平均)	3.5	4.8



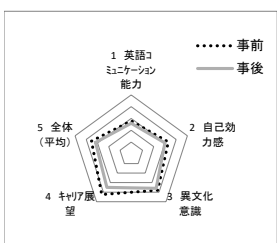
【参加者L】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	2.2
2 自己効力感	1.6	3.4
3 異文化意識	4.6	4.0
4 キャリア展望	4.5	3.3
5 全体(平均)	2.9	3.2



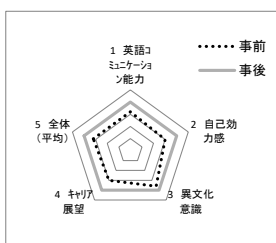
【参加者M】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	2.6
2 自己効力感	3.3	3.0
3 異文化意識	3.8	3.6
4 キャリア展望	4.3	3.5
5 全体(平均)	3.5	3.2



【参加者N】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.2	4.0
2 自己効力感	3.0	4.0
3 異文化意識	3.6	4.0
4 キャリア展望	3.0	4.0
5 全体(平均)	3.2	4.0



【参加者O】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.8	3.0
2 自己効力感	3.4	3.9
3 異文化意識	4.8	5.0
4 キャリア展望	5.0	4.5
5 全体(平均)	3.8	4.1

